

やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトの推進について

背景

- 鉄道は、通学・通勤や、買い物、通院などの地域住民の日常生活を支えるとともに、県内外の観光・交流の手段としても重要な社会基盤。特に山形新幹線は、コロナ前に年間約300万人の旅客流動があり、本県と首都圏との往来を支える、本県の発展に不可欠な公共交通機関。加えて、鉄道は、他の交通機関と比較してエネルギー効率が高く、総じて環境負荷の低い交通機関であり、SDGsやカーボンニュートラルの観点からも重要。
- 山形新幹線において、福島～米沢間における自然災害等による輸送障害を抜本的に解決し、時間短縮にもつなげる「米沢トンネル（仮称）」は、「山形県の未来を拓く希望のトンネル」であり、その早期実現が最重要かつ喫緊の課題。一方で、トンネル整備には多額の費用が必要であり、トンネル整備の早期実現に向けては、トンネル整備による効果を最大限に高めるための沿線活性化の取組が必要。
- また、県内の鉄道は、モータリゼーションの進展や人口減少等により利用者の減少が続いており、国土交通省の有識者検討会による提言やJR東日本による利用の少ない線区の収支公表など、ローカル鉄道の今後の在り方について検討する動きが出てきている。
- こうした動きに対応するためにも、山形新幹線を軸として、県内の在来線各路線やバス等の二次交通も含めて、県内全域にわたって鉄道沿線の活性化や利用拡大に取り組むことが必要。

「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト」の推進

⇒観光等による交流人口の拡大、住民の利用促進、駅を中心としたまちづくり等により、鉄道の利用拡大と地域の活性化を実現

観光

観光・ワーケーション等による交流人口の拡大

- ・地域資源を活用した観光による鉄道の利用拡大
- ・ワーケーション等の新たな需要の創出 等

産業

人と物の往来拡大による地域産業の活性化

- ・コワーキングスペース等によるビジネス関係人口の創出
- ・新幹線等を活用した荷物輸送 等

住民

沿線住民の意識醸成・利用拡大

- ・通学・通勤や日常利用への支援、利便性の向上
- ・マイルール意識の醸成 等

まち

駅を中心としたまちづくりの推進

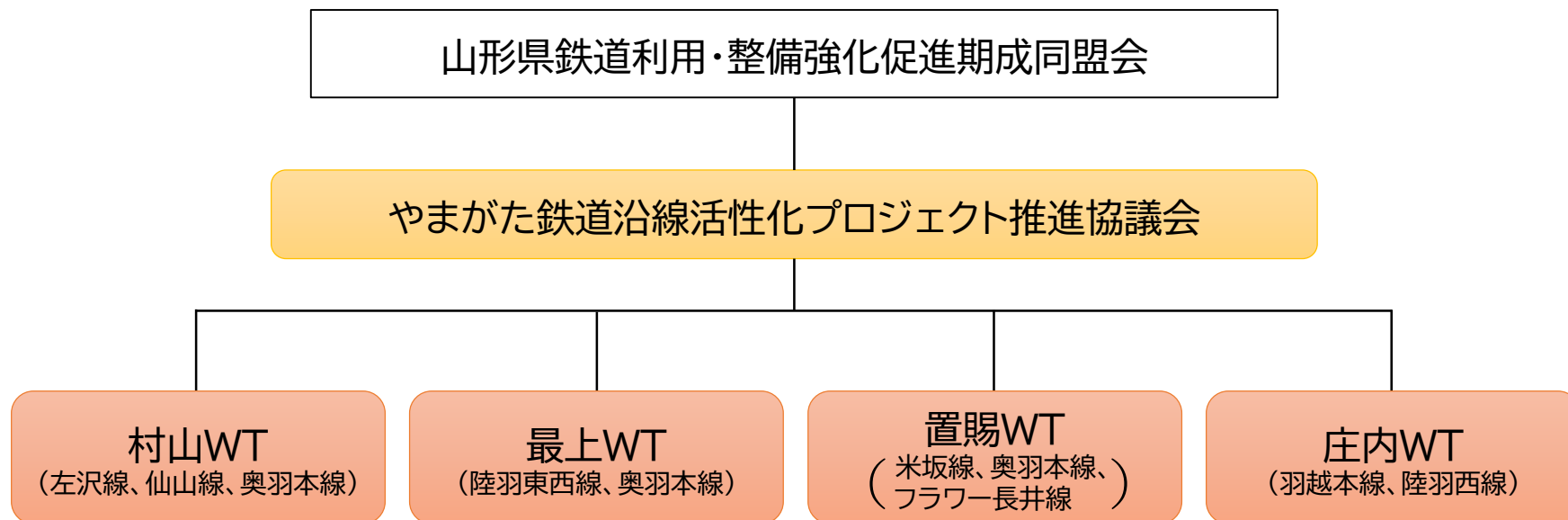
- ・駅前のイベントや整備による駅を中心とする人流の創出
- ・二次交通の充実、シームレスな乗換の実現 等

やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトの推進体制

- やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトの推進に当たっては、県や市町村、経済界、JR東日本等が連携して、これまで以上に強力に取組を推進することが必要。また、在来線も含めて沿線活性化を進めるためには、路線ごとに地域の関係者が地域の実情も踏まえて、方策を検討する体制が必要。
- このため、県内の全市町村や関係団体が所属し、県が事務局を務める「山形県鉄道利用・整備強化促進期成同盟会」のもとに、新たに「やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会」を設置し、沿線活性化に関する全国や県内の取組についての情報共有や、関係者が連携して沿線活性化の方策の検討・実施に取り組む体制を構築。

① ワーキングチームの設置について

- 併せて、県内4ブロックごとにワーキングチーム（WT）を設置し、地域の実情に応じて必要な関係者の参画も得ながら、路線ごとに具体的な方策を検討・実施する。



※フラワー長井線については、山形鉄道株式会社経営改善推進委員会において検討しつつ、相互に連携

やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会の構成

やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会

- 会長
県みらい企画創造部長
- 構成員
 - ・ 県関係課長（総合交通政策課、観光復活戦略課、産業創造振興課、管理課）
 - ・ 市町村鉄道担当課長
 - ・ 県商工観光関係団体（県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県観光物産協会）
 - ・ JR東日本東北本部、新潟支社、秋田支社
 - ・ 東北運輸局
- 事務局
県みらい企画創造部総合交通政策課

村山WT

- ・ 村山地域市町村
- ・ 村山地域観光関係団体
- ・ 山形・天童商工会議所
- ・ 村山地域商工会
- ・ 県（総合交通政策課・村山総合支庁）

（必要に応じて）

- ・ JR東日本
- ・ 東北運輸局

最上WT

- ・ 最上地域市町村
- ・ 庄内地域市町村
（陸羽東西線利用推進協議会構成市町村）
- ・ 最上地域観光関係団体
- ・ 新庄商工会議所
- ・ 最上地域商工会
- ・ 県（総合交通政策課・最上・庄内総合支庁）

（必要に応じて）

- ・ JR東日本
- ・ 東北運輸局

置賜WT

- ・ 置賜地域市町村
- ・ 置賜地域観光関係団体
- ・ 米沢・長井商工会議所
- ・ 置賜地域商工会
- ・ 県（総合交通政策課・置賜総合支庁）

（必要に応じて）

- ・ JR東日本
- ・ 東北運輸局

庄内WT

- ・ 庄内地域市町村
- ・ 庄内地域観光関係団体
- ・ 酒田・鶴岡商工会議所
- ・ 庄内地域商工会
- ・ 県（総合交通政策課・庄内総合支庁）

（必要に応じて）

- ・ JR東日本
- ・ 東北運輸局

② 今後の検討の進め方について

- 県内4ブロックごとのワーキングチーム（WT）を年内に立ち上げ、路線ごとの利用状況等の共有やこれまでの鉄道沿線活性化関連施策の取組の共有を行い、来年度以降に取り組む方策の検討等を協議したうえで、第2回やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会を開催する。

- 12月2日 第1回 やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会
 - ・現状の共有（政府・JRの動向、各路線の利用状況、これまでの各団体の取組など）
 - ・WTの設置
 - ・今後の検討の進め方の共有
- ～ 12月中 第1回WT
 - ・路線ごとの利用状況等の共有
 - ・これまでの鉄道沿線活性化関連施策の取組の共有
 - ・追加調査等の検討
- 1月～2月 第2回以降のWTを順次開催
 - ・路線ごとの沿線活性化の取組の方向性、来年度以降に取り組む方策の検討
- ～ 3月 第2回 やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会
 - ・鉄道沿線活性化の取組の方向性、来年度以降に取り組む方策の決定

※協議会はオンライン、WTは原則対面で開催